

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>■ 県共通の重点取組について「十分達成できている」の評価が多く、全体的に見ても「概ね達成」以上の評価であり一定の成果は上げられている。しかし、肯定的な意見は成果指標を大きく上回っていたが、「十分達成」の回答の割合は、その半数であったことから、今後は更に児童や保護者との意思疎通・連携を図りながら指導改善に生かしていきたい。</p> <p>■ 基本的な生活習慣の徹底を図ることで、落ち着いた生活習慣、学力向上を狙うとともに、家庭へ積極的にその啓発を図り、徹底を図っていく。</p>
2 学校教育目標	自ら気付き、人との関わりの中で自分らしさを発揮しながら課題解決に向かう児童の育成

3 本年度の重点目標	<p>① 自ら考える力を培い、主体的で創造性豊かな児童を育て、学力向上を図る。</p> <p>② 自然や人間に愛情をもち、やさしく思いやりのある児童を育て、心の教育を充実する。</p> <p>③ 健康や安全に留意し、強い心とたくましい体の児童を育てる。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
● 学力の向上	● 全職員による共通理解と共通実践	● 学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上になることを目指す。	・校内研修又は職員会議の中で、学校課題と重点取組を協議・共有し、それに基づいたマイプランを各自作成し、取組の推進を図る。							学力向上対策コーディネーター
	○ 問題文を読み解く力を高める授業実践	○ 児童アンケートにおいて肯定的に回答する児童の割合を70%以上にするを目標とする。	・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用した授業設計と授業研究会を行う。その際、自己評価や他者評価ができるようにチェックシートを活用する。							研究主任・研究副主任
	○ 友達と考えを練り合い、高め合うことができる授業実践	○ 児童アンケート「授業の中で友達と考えを練り合い、高め合うことができた」と回答する児童の割合を70%以上にするを目標とする。	・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用した授業設計と授業研究会を行う。その際、自己評価や他者評価ができるようにチェックシートを活用する。							
● 心の教育	● 児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ 児童アンケート「学校が楽しいですか」で、肯定的回答の割合を80%以上にするを目標とする。 ○ 保護者アンケート「お子さんは、『学校が楽しい』と感じていると思いますか」で、肯定的回答の割合を90%以上にするを目標とする。	・児童の実態把握のためのアンケートを定期的に実施し、児童理解に努める。 ・児童の実態に応じた道徳の単元構成や人権・同和教育の計画的な運用を図る。							道徳主任
	● いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○ 保護者アンケート「学校は、いじめ防止に向けた取組を適切に実施していると思いますか」で、肯定的回答の割合を75%以上にするを目標とする。	・いじめアンケートや「月のこころ」を有効に活用し、早期発見と対応を継続して行う。 ・職員間で情報を共有し、チームによる対応を心掛ける。							人権・同和教育担当 教育相談担当
	○ 児童生徒が目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとする教育活動の実践	○ 学期に1度は児童の目標設定や振り返りの記録を行いキャリアパスポートに残す。 ○ 保護者アンケート「お子さんは、行事等に意欲的に取り組んでいたと思いますか」で肯定的回答の割合を70%以上とする。	・児童が目標をもって学校生活や行事に臨むことができるように事前指導を充実させる。また、行事後には、その振り返りを行い目標実現への努力を賞賛していく。							
● 健康・体づくり	◎ 「望ましい生活習慣の形成」	◎ 「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励し、保護者アンケートの結果で、肯定的回答の割合を90%以上にするをめざす。	・学活や家庭科の授業を通して望ましい生活習慣の大切さを理解させる。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の励行を児童と保護者に引き続き啓発する。							保健主事 保体部
	○ 望ましい食習慣の育成	○ 朝食の喫食率を90%以上にするを目標とする。	・保健体育や食育の授業を充実し、健康の大切さに改めて気付かせる。 ・お便り等を通して保護者へ啓発する。							栄養教諭 保体部
● 業務改善・教職員の働き方改革の推進	● 業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	● 教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤推進日を設定する。 ・学校閉庁日を設定する。 ・繁忙期とそうではない時期を明確にし、年間を通し、軽重を付けた働き方を行う。							教頭

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○ 開かれた学校づくり コミュニティ・スクール	○ 地域と連携した体験活動の推進 ○ 積極的な情報発信	○ 新型コロナウイルス感染症防止対策を十分講じた上で、地域の人材を活用した体験活動を通して、地域との連携を進める。 ○ 保護者アンケート「学校の教育方針・内容を概ね知っている」の肯定的回答の割合を80%以上にするを目標とする。	・焼き物体験を中心に、他の体験活動に応じた人材発掘と連携を図る。 ・学校ホームページを効果的に活用し、学校の重点目標や取組等について知らせる機会を設ける。							教頭 主幹教諭
○ 教職員の資質向上 (若手教員の育成)	○ 若手教員の授業力向上	○ 児童アンケートで「授業が楽しい」と肯定的回答の割合を85%以上、保護者アンケートで「授業を工夫している」の肯定的回答の割合を80%以上にするを目標とする。	・若手同士が切磋琢磨できる環境づくりとして、授業づくりや学級経営に関して気軽に相談できる研修会を行う。 ・学年やグループ間の連携を図り、授業づくりについて日ごろから相談しやすい環境づくりを行う。							主幹教諭

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------